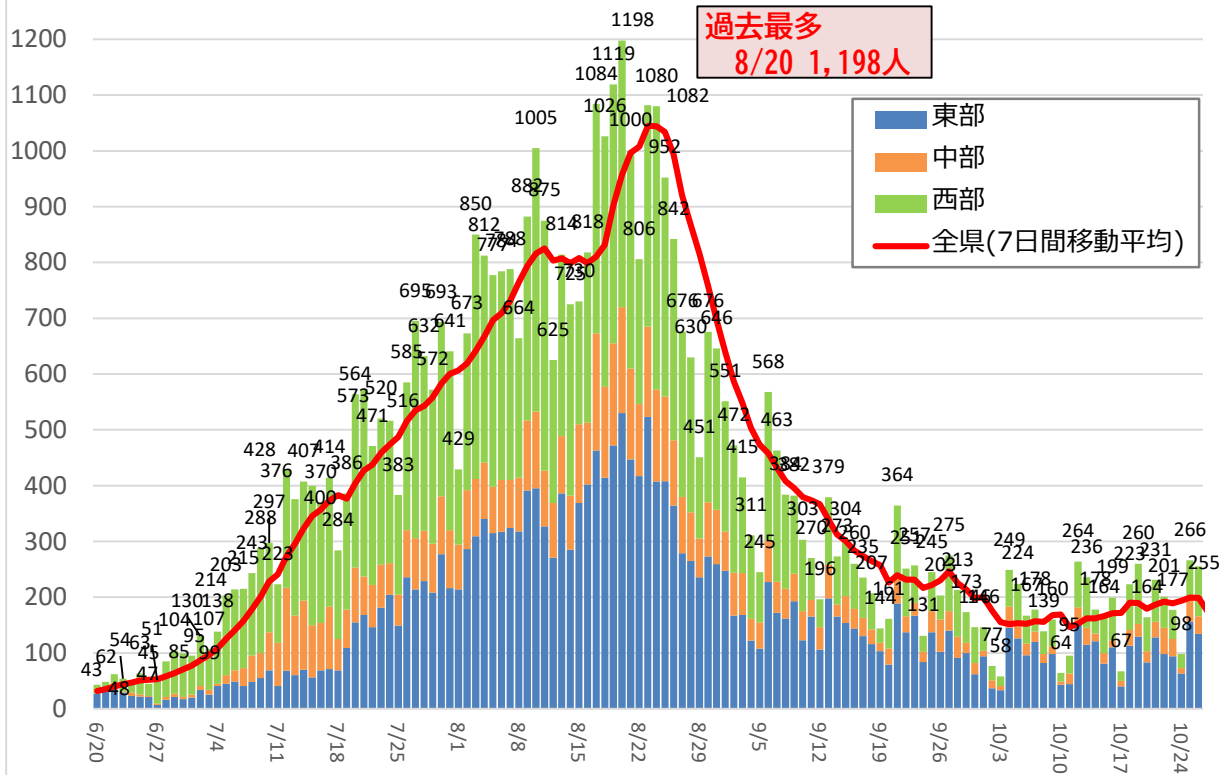


令和4年10月27日

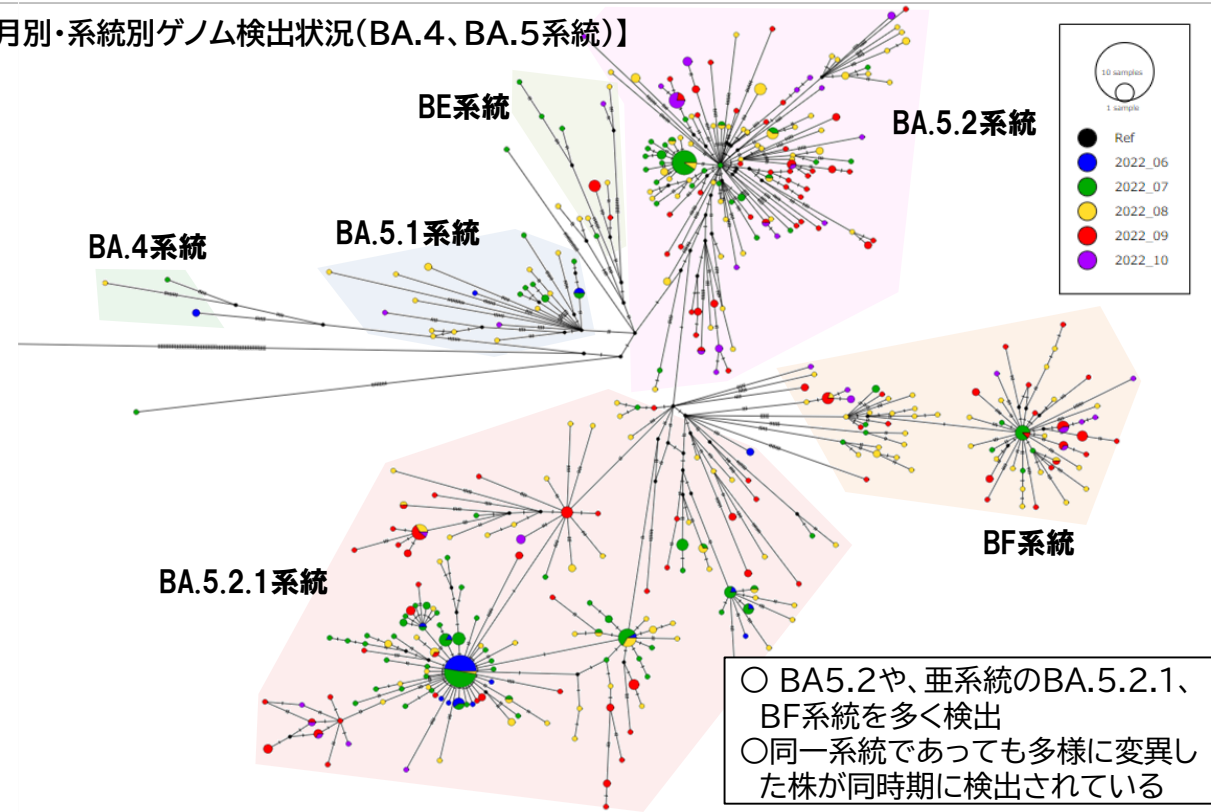
鳥取県知事定例記者会見

鳥取県の最近の感染状況・変異株の検出状況

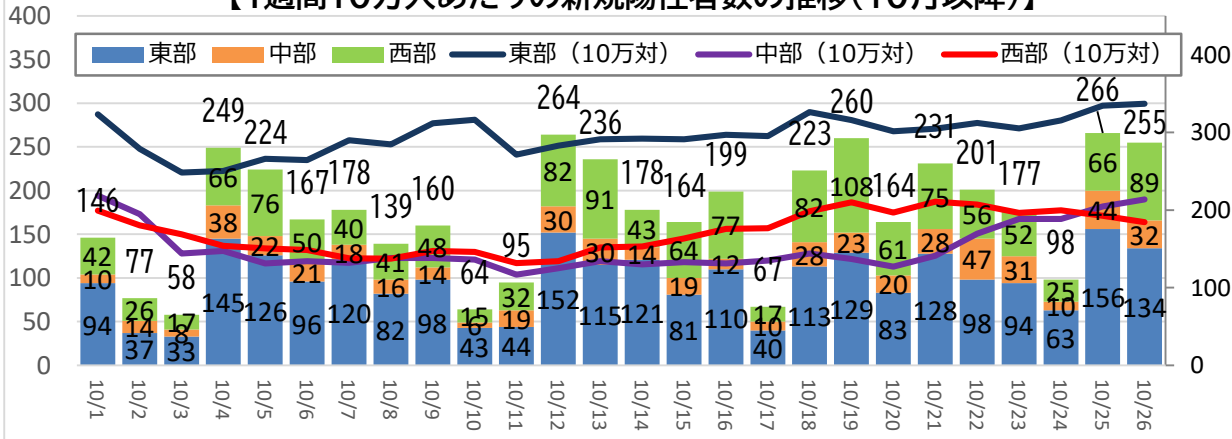
【新規陽性者の推移】



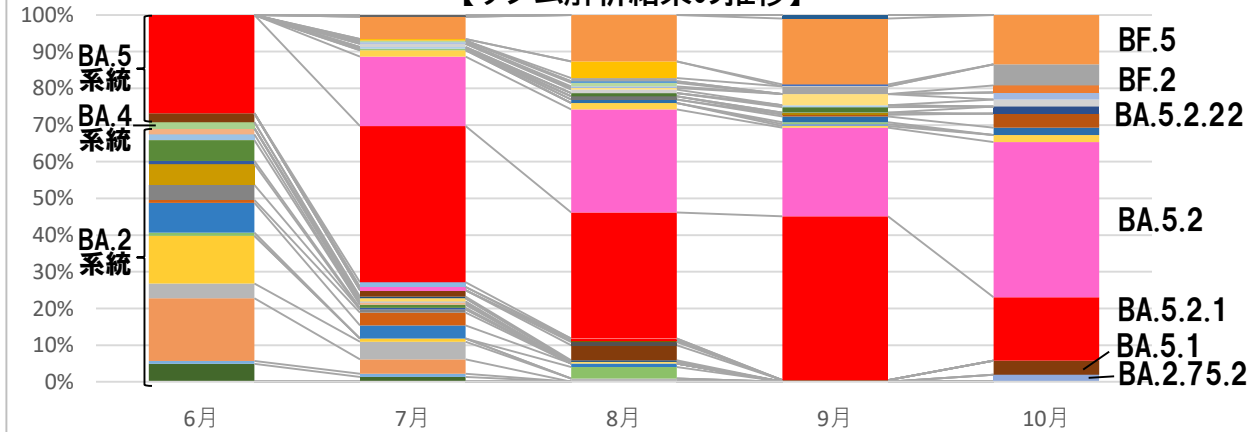
【月別・系統別ゲノム検出状況(BA.4、BA.5系統)】



【1週間10万人あたりの新規陽性者数の推移(10月以降)】



【ゲノム解析結果の推移】



第8波に備えたワクチン接種促進大作戦 (10/27~11/26)

コロナ第8波とインフルエンザの同時流行に備えるため、市町村や医療機関と連携して、年内に必要な方が接種を受けていただけるようキャンペーンを展開 (10月21日、2価ワクチン接種間隔「3カ月」に短縮)

オミクロン株対応ワクチンの接種状況(10/25時点)

本県:27,643人(5.01%) 全国:4,554,105人(3.62%)

接種受入体制

- ・ 個別接種や集団接種で、最大で16.7万回分/月(5,572回分/日)の受入れ体制を準備

接種の加速化

医療機関や診療所での個別接種(356か所) 12.8万回
市町村や県営の集団接種会場(延149会場) 3.9万回



- ・ 県営会場で接種した方すべてに県産米パックご飯(一つ/150g)をプレゼント!

トリニティモール、県保健事業団、新日本海新聞社、倉吉シティホテル、イオンモール日吉津、米子しんまち天満屋
⇒ 10/27(木)から開始 (11/26まで)

- ・ インフルエンザワクチンとの同時接種ができる県営会場の開設!

トリニティモール、イオンモール日吉津 ⇒ 10/29(土)から開始 (12月下旬まで毎週木~土曜)

予約開始
本日午後1時



写真はイメージです

- ・ 市と共同で街頭キャンペーン実施! JR主要駅前「トリピー」も登場! チラシ配布でPR

- ・ 乳幼児接種の開始(11月1日から鳥取市を皮切り)とあわせて、11月に広報を展開

○乳幼児接種を実施する小児科・保育施設等へのチラシ配布
○県小児科医会 石谷会長による解説付き60秒TVCM

○とりねっと特設サイトやSNS等のバナー広告による接種呼びかけ
○子育て世代向けフリーペーパーへの広告掲載

○乳幼児接種について小児科医療機関へ県独自の加算による支援を実施(1回1,000円)

第8波に備えた業種別ガイドラインの見直し

感染防止対策と経済活動を両立する観点から、各種ガイドラインを改訂

イベント、飲食店、宿泊施設のガイドラインを改訂

変更した対策（国の基準に合わせて緩和）

- 換気・パーティション
 - ・給気口から排気口への空気の流れを意識すること
 - ・パーティションは空気の流れに平行に設置し、空気の通り道を確保
- レジカOUNTERのパーティション
 - ・従業員とお客様ともに、マスク着用時は不要
- ビュッフェ
 - ・手指の消毒により、 tong等 の共用可



県独自に追加した対策

- タッチパネル等
 - 会計用のタッチパネルは、使用時にも手指消毒
 - 注文用のタッチパネルは、お客様のグループごとに消毒



⇒ その他のガイドライン（理容・美容所、小売業、スポーツジム等）も10月末までに改訂

自己点検により対策の徹底を！

- 換気扇や窓開けにより、部屋内の空気を全て入れ替え
- 従業員の体調管理（体調不良時は、休むこと）
- 共用器具等を使用する場合は、手洗い又は手指の消毒



認証店の巡回点検を強化

- 従来の定期巡回点検に加え、忘年会シーズン前に集中的に巡回点検を実施

第8波に備えた県庁の新型コロナ対応体制の構築

○ **第8波の到来を見据えて、新型コロナ業務への柔軟な対応等により職員の負担を更に軽減**

- ・ **コンタクトセンター相談等対応6名、健康観察対応2名、療養証明書発行2名に加え、感染者数に応じ柔軟に人員調整**
- ・ **クラスター対策として12班(機能別に鳥取・倉吉・米子に配置)24人を配置し必要な場合に対応**
- ・ **リーダー業務等の経験が必要な業務を担うことが出来る職員の拡大**

職員のメンタルヘルス対策

新型コロナ対応業務・分散勤務・在宅勤務により、職員が所属内で孤立感を感じ上司等への適切な相談が出来ていないため、**全庁的に相談しやすい体制を強化**

- **心とからだの健康相談実施回数を増加させるなど多様な相談機会を確保**
- **メンタル疾患未然防止のため、積極的に所属に出向いて健康相談を実施**

新型コロナ業務対応人員の柔軟な調整

特定の職員に負担が掛からないよう、**全庁でのフォローアップ体制**を構築し、柔軟に人員調整し各業務に配置

※柔軟な調整等の結果、新型コロナ業務にかかる時間外の一人一月あたり時間数の最大値は横ばい
(R3年3月:22.1h、R3年1月:20.8h、R4年8月:20.5h)

特定の職員の経験に頼らない業務手法の確立

- ・ **経験値が必要な業務(各業務のとりまとめ役等)に対応できる職員数の拡大**
- ・ **経験値の少ない職員でも業務実施できるよう業務マニュアルを更新**

デジタルを活用した更なる効率化

データ入力・確認作業の**RPA活用を推進し**、人力・手作業を減らし**更なる省力化**

- ⇒以下の業務のノーツDBへの**データ取込みを自動化**
- ・ 陽性者コンタクトセンターの登録時の電子申請
 - ・ HER-SYSシステムの健康観察情報

コロナ禍を乗り越える観光誘客・食のみやこ推進

○とっとり鉄道・航空プレゼントキャンペーン

11/1~



鉄道・航空便を利用された方が、特急券又は搭乗券の写真を添付して特設サイトにより応募すると、抽選で毎月250名、合計1,000名に県内宿泊券や特産品をプレゼント

○レンタカー割引キャンペーン

11/1~



鉄道・航空便を利用して来県し、県内の宿泊施設を1泊以上利用する旅行者に、レンタカー料金を割引(外国人利用者も対象)

レンタカー基本料金
3,000円(上限)を割引 等

○YouTubeでの星空舞・鳥取和牛PR

星空舞・鳥取和牛の魅力を、YouTubeちゃんねる「あみちゃんねる」内で、菊地亜美さんが全国に向けて発信(撮影:11/8、公開:12月~)



○首都圏での「鳥取和牛レストランフェア」

- ・京橋「シェ・イノ」など都内10店舗:「鳥取和牛フェア」(11/1~11/30)
- ・銀座「アルジェント」:鳥取和牛を味わう美食の饗宴「鳥取和牛フェア」(10/26~11/20)
- ・ホテルニューオータニ東京:ブランド和牛の源流!「鳥取和牛フェア」(10/17~12/16)



鳥取県「女性活躍 夢ある未来Smile（スマイル）宣言」

- **積み上げてきた男女共同参画への理念を次世代につなぎ、世代を超えた持続可能なジェンダー平等の取組へ深化・促進します。**

現役世代と高校生、大学生など若者世代との交流や、若者世代の自主的な活動を支援

- **女性の活躍、経済的自立を支える環境づくりを進めます。**

女性の就業・定着・賃金アップの支援、ライフステージに応じた女性のキャリア教育等の充実

- **全ての働く人の仕事と生活の調和が図られる環境整備を進めます。**

テレワークや在宅勤務等の誰もが働きやすい環境づくりの推進、育児や介護に伴う休暇取得の推進、家事分担意識の醸成

- **パートナーシップ（ネットワーク）で支え合う地域社会づくりを進めます。**

官民連携による孤立・孤独対策、地域全体で子育てを支える環境づくり

- **女性や子ども、家族を守る安心・安全な社会づくりを進めます。**

性暴力被害等の防止や相談体制の充実、男女共同参画の視点からの防災・復興

- **未だ根強く残るアンコンシャスバイアス（無自覚の差別意識）の解消を進めます。**

社会各層で自覚されずに人々の言動に影響する固定的役割分担意識の解消

「日本女性会議2022in鳥取くらよし」開催



5 ジェンダー平等を実現しよう



テーマ Smile in くらよし ～だれもが共に笑顔になれる夢ある未来～

開催日 令和4年10月28日(金) – 30日(日)

10/28 (金) 分科会 (申込み締切済)

県中部の高校生がSDGsと関連付けながら地方創生に向けた取組提案を行う「未来創造コンテスト」をはじめ、「女性の活躍」「性の権利と健康」等9つの分科会を開催

10/29 (土) 全体会 ※当日受付あります

上地雄輔さんや秀野山親方が出演する特別講演、鳥取大学の学生主体のシンポジウム等を開催。

10/30 (日) エクスカーション (申込み締切済)

鳥取県内、島根県東部の各観光地を巡回する小旅行。

【女性の活躍】

「女星活躍とっとり会議」を通じて、官民連携により女性活躍に向けた取組等を促進

- ・ 企業の管理的地位に占める女性割合 26.4% (R2年度)
- ・ 県の管理職における女性割合 22.7% (R4年度)
- ・ 男女共同参画推進企業認定数 935社 (R4.10月)

【性の権利と健康】

女性の健康課題に関するセミナー等を実施

「とっとりSDGsシーズン2022」スタートします！



メインテーマ

リトルで利取る！「とっとりSDGs未来都市」

開催期間：10月28日(金)～12月18日(日)

★県民、企業、NPOなど様々な立場の方々にシーズン中のSDGsの取組の実施や参加を呼びかけ、県民運動を推進。

★シーズン中、県内各地で官民が連携してのSDGsの達成に向けた活動を展開。

(とっとりエコフォーラム(11/19)、よなご公共交通ふれあいフェスタ(11/20)、ほくえい未来トーク2022(10/29)など)

★県も「とっとりSDGsビジネスアワード」や「SDGs子ども伝道師」などを推進。

★クロージングイベントとして「未来都市選定記念フォーラム(12/18：米子コンベンションセンター)」を開催。

淀江産業廃棄物処理施設計画に係る審査体制について

今後見込まれる設置許可審査に備え、審査能力の高い職員で構成し、公正中立かつ厳正に審査を行う新たな審査組織を設置

⇒ **11月14日に産業廃棄物処理施設審査準備室を設置**（総務部・県土整備部共管）

当面、専任職員4人（室長＋衛生2＋土木1）及び兼務職員（総務、県土）

○生活環境部から切り離し、公正中立に審査を担うことにより、審査の客観性を担保

<想定される審査内容>

○主な技術基準

- ・地盤の地滑り防止及び沈下防止措置
- ・施設の構造耐力上の安全性
- ・汚水を外部に漏らさない遮水工
- ・汚水を貯留する調整池の構造及び容量
- ・適切な排水処理設備
- ・施設の維持管理の方法

○その他の基準

- ・周辺的生活環境保全への適切な配慮
- ・施設の設置や維持管理を的確に行うに足る知識・技能等の有無

<その他の手続>

- ・有識者からの意見聴取
- ・関係市町村からの意見聴取
- ・利害関係者からの意見書の提出

ナショナルサイクルルート (NCR)指定を目指して

本日、鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議開催

NCR指定を目指す「鳥取うみなみロード」設定へ

- 地域活性化やサイクリストの利便性の向上を目指して
鹿野地域経由ルートへ振替

「鳥取うみなみロード」振替案（赤ルート）



追悼 しのだひでお先生

【しのだひでお先生追悼展示】

- ・ 先生のご偉功を偲び、
本日から、しのだひでお先生の追悼展示を行う。
期間：令和4年10月27日～11月2日
場所：県庁1階ロビー
展示：まんが王国建国時に贈呈された色紙2枚等



冬の味覚の王様 松葉がに漁の解禁！

松葉がにを鳥取県の冬の味覚の『シンボル』として 県産農産品、地酒、加工品とともに食のみやこ鳥取県をPR



昨年度アンテナショップカニメニュー

<首都圏> 鳥取松葉がにフェア

- 松葉がにのPR販売、カニを使ったメニューの提供 とっとり・おかやま新橋館（11月上旬-）
日本橋三越本店地下1階吉川水産(11/16-20)新宿伊勢丹（11/16-22）八芳園でのPR(12/1-2)

<関西圏> KOHYOトットリ特集

- 県産ズワイガニのPR販売 阪神髭定(はんしんひげさだ)での松葉がに解禁直後のPR販売(11/7)
KOHYO全80店舗（11/27-28）

<海外> シンガポール鳥取フェア ※コロナ後のインバウンドを意識した情報発信も展開

- ベニズワイガニとカニ加工品を用いたメニュー提供、日本料理店Takayama2号店(11/6-12/31)
- 松葉がにや県産農産物(ねばりっこ等)を用いたメニュー提供、日本料理店Takayama本店(1/1-2/28)予定

<その他>

- 中日新聞・産経新聞広告掲載、毎日放送「よんちゃんTV」、視聴者プレゼント等
- まるごと境港市場：JA鳥取いなば愛菜館で松葉がに、ベニズワイガニ等境港産水産物をPR(11/13)
- ふるさと納税で県を応援して下さる方への返礼品としてPR

★ズワイガニの漁期について

- 松葉がに（雄）11月6日(日)～3月20日(金)
- 親がに11月6日(日)～12月31日(土)
※初競り式は11月7日(月)に鳥取港で開催
- 若松葉がに（雄）2月1日(水)～2月28日(火)

★今漁期のズワイガニの漁獲可能量(TAC)

- 資源量の減少により、鳥取県配分は796トン
(前漁期は850トン：実水揚げ567トン)
※資源量については、観光業界とも共有
 - 鳥取県、兵庫県の漁業者が協力して、大きさや1回に水揚げする枚数制限等の自主規制による資源保護を実施し、将来の漁獲可能量増加に繋げる。
- ※ 官民一体となった取り組みで、資源量は来期以降回復と予測